



議会のうごき

ACTION

9月定例会以降の主な行事について報告します。

9月

13日(火) ◆金婚表彰式

10月

4日(火) ◆広報調査特別委員会
◆議会議員研修会(熊本市)

6日(日) ◆金栗四三翁マラソン大会

12日(水) ◆広報調査特別委員会

18日(火) ◆議会運営委員会
◆臨時会

27日(木) ◆九州・沖縄防衛議員協議会総会(熊本市)

11月

9日(水) ◆第66回町村議会議長全国大会(東京都)

17日(木)、18日(金)

◆総務文教常任委員会研修(鹿児島市・芦北町)

24日(木)、25日(金)

◆厚生建設経済常任委員会研修(鹿児島県)

28日(月) ◆議会運営委員会

12月

1日(木)、2日(金)、3日(土)

◆台湾視察訪問

9日(金) ◆12月定例会



- | | | | | | |
|----|-----|----|----|------|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 亀崎 | 千々岩 | 白木 | 笹淵 | 木原 | 荒木 |
| 清貴 | 繁 | 淳 | 賢吾 | 泰代 | 宏太 |

広報委員

広報委員 笹淵 賢吾

● ● 12月定例会を傍聴して ● ●



なかむら えみこ さん
中村 恵実子 さん
(和水町原口在住)

今回、私は子育てひろばの活動で初めて和水町議会の傍聴をしました。いまの和水町の現状と今後のまちづくりについて議員の方々と執行委員の方々が議論を重ねて、私たち町民の暮らしが良くなるように努めていらつしやるのを間近で感じることができました。特に興味深いと感じた内容は、和水町の人口減少、少子化の課題についてです。私は現在、第一子を育てています。和水町は子育てしやすい制度が整っていると感じており、私自身も他の市町村と比較して結婚後、和水町に住むことを決めました。しかし、出生率は全国平均をやや上回っている程度とこのことです。この数字を上げて



子育てひろばから傍聴に来られました！

いくために、他の市町村の例を挙げて提案をしたり、様々な政策を進められていますが、私たちも実際に和水町で子育てをしていく中で町に対する希望や要望が出てきた時に、それを発信することが大切だと思います。そのためには、現状を知ることと情報を収集すること、そして伝えることで私たちのより良い生活に返ってくるということを改めて感じました。

編集後記



世界中で新型コロナウイルスが発症し3年が経過し「人に会うこと」「会話すること」が難しくなりました。ロシアのウクライナ侵略が世界中の国の平和と暮らしに影響を与え、エネルギーや食糧の物価高騰が続いています。基幹産業の農業は生産者米価がコロナ禍で3年間暴落し厳しい状況です。国内では岸田首相の防衛費増額(軍備倍増)の方針が出され国債発行や増税となれば町民の負担増になります。ますます暮らしにくくなります。このような中、議会には町政のチェック機能を果たし、町民の暮らしを守る建設的提案が必要となります。議会でも行われましたが、答弁はちぐはぐなものもありレベルアップが必要です。今議会では初めて子育てひろば利用の5名の皆さんが傍聴されました。主権者としての次の時代を担う若い人が議会に興味を持って傍聴することは何よりも嬉しいことです。多数の人が傍聴されると議員も執行部も身が引き締まり活発な議論ができるのではないのでしょうか。